

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月17日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ベクター
 コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶並 伸博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	336	△22.4	△60	—	△60	—	△60	—
27年3月期第1四半期	433	△19.9	△30	—	△30	—	△31	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△4.40	—
27年3月期第1四半期	△2.28	—

(注)平成27年3月期第1四半期及び平成28年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,956	1,680	85.8
27年3月期	2,059	1,741	84.4

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 1,678百万円 27年3月期 1,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

業績を考慮した剰余金の配当を実施することを基本方針としていることから、現時点では平成28年3月期の配当については未定であります。具体的な金額が決定した時点で、速やかに開示いたします。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	700	△21.8	△140	—	△140	—	△142	—	△10.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。詳細は、3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	13,933,800 株	27年3月期	13,933,800 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	127,200 株	27年3月期	127,200 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	13,806,600 株	27年3月期1Q	13,802,600 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成28年3月期第1四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、円安による輸出企業的好調な業績や株式市場の堅調な推移を背景として、国内景気は緩やかな回復基調が続いております。個人消費については、消費者マインドに持ち直しの動きが見られつつも横ばいから緩やかな改善基調の動きに留まるなど、先行きについては不透明なものとなりました。

当社の事業領域であるパソコン向けオンラインゲーム業界の成長率は、スマートフォン(高性能携帯電話)・タブレット等を含めたゲーム市場は拡大基調が続いており、前期からのトレンドを踏襲する形で推移しております。

ソフトウェア販売を取り巻く環境としましては、ウィンドウズXPのサポート終了による買い替え需要の反動により、パソコンの出荷台数は低水準で推移しており、タブレット端末やスマートフォンの普及により先行きは依然として厳しいと予想されております。

このような環境のもと、オンラインゲーム事業においては、採算面が厳しい複数のゲームタイトルの終了を発表した一方で、新規タイトルのサービスを開始いたしました。営業収益は、新規タイトルが終了予定のゲームタイトルの落ち込みを埋めることが出来ず、前年同期を下回る結果となりました。

ソフトウェア販売事業につきましては、需要の縮小トレンドに加え、パソコンの出荷台数の低迷により営業収益は前事業年度を下回る結果となりました。

営業費用につきましては、最適化・効率化により削減を進めております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の営業収益は3億36百万円(前年同期比22.4%減)、営業損失は60百万円(前年同期は30百万円の営業損失)、経常損失は60百万円(前年同期は30百万円の経常損失)、四半期純損失60百万円(前年同期は31百万円の四半期純損失)となりました。

当第1四半期累計期間のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位：千円、%)

	第28期第1四半期累計期間		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	225,555	△22.2	67.0
ソフトウェア販売事業	87,102	△26.3	25.9
サイト広告販売事業	20,823	△18.3	6.2
その他	3,019	—	0.9
合計	336,501	△22.4	100.0

オンラインゲーム事業

当第1四半期累計期間におけるオンラインゲーム事業の販売金額は、2億25百万円(前年同期比22.2%減)となりました。

従来型のオンラインゲーム(クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの)は、前期から継続している4タイトルから平成27年6月に「BOUNDRA」1タイトルのサービスを終了し、当第1四半期累計期間末時点では3タイトルの運営となっております。

ブラウザゲーム(パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム)は、前期から継続している7タイトルから平成27年6月に「魔戦カルヴァ」のサービスを開始したことにより、当第1四半期累計期間末時点では8タイトルの運営となっております。

当第1四半期累計期間末時点で運営を行っているスマートフォンゲームは、「アルカナ・マギア」「だいすきナンプレ!」の2タイトルとなっております。

ソフトウェア販売事業

当第1四半期累計期間におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、87百万円(前年同期比26.3%減)となりました。

ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウィンドウズXPのサポート終了により、個人消費者向けパソコンの買い替えが進んだことにより、ウイルス対策ソフト等の販売が一時的に増加いたしました。しかしながら、個人消費者向けのパソコン市場の縮小や有料パソコンソフトに対する需要の減少傾向は継続しております。

サイト広告販売事業

当第1四半期累計期間におけるサイト広告販売事業の販売金額は、20百万円(前年同期比18.3%減)となりました。

ネットワーク配信型広告(キーワード広告、ユーザーの傾向を分析する行動ターゲティング広告等)が大半を占めており、サイト広告販売事業の基幹となっております。

(2) 財政状態に関する説明

財政状況の変動状況

(資産)

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が80百万円、売掛金が25百万円、その他に含まれる未収入金が10百万円、前払費用が3百万円減少したこと等によるものです。

固定資産増加の主な要因は、無形固定資産が18百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

流動負債減少の主な要因は、買掛金が17百万円、未払法人税等が3百万円、賞与引当金が12百万円、その他が9百万円減少したことによるものです。

固定負債につきましては、退職給付引当金の増加と繰延税金負債の減少を差し引いた結果、固定負債合計に大きな動きはありませんでした。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、60百万円の四半期純損失の計上により、前事業年度末に比べ60百万円減少して16億80百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は85.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業の業績は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けます。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

平成28年3月期第2四半期累計期間の業績は、営業収益7億円(前年同四半期期は8億95百万円 21.8%減)、営業損失1億40百万円(前年同四半期期は30百万円の営業損失)、経常損失1億40百万円(前年同四半期期は26百万円の経常損失)、四半期純損失1億42百万円(前年同四半期期は27百万円の四半期純損失)を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,642,863	1,562,149
売掛金	207,394	181,765
有価証券	30,371	30,375
その他	47,623	33,024
流動資産合計	1,928,253	1,807,314
固定資産		
有形固定資産	11,559	10,586
無形固定資産		
ソフトウェア	49,619	45,926
その他	30,125	52,728
無形固定資産合計	79,745	98,655
投資その他の資産	40,301	39,992
固定資産合計	131,606	149,234
資産合計	2,059,859	1,956,549
負債の部		
流動負債		
買掛金	96,133	78,603
未払法人税等	5,803	2,390
賞与引当金	26,174	13,677
その他	160,111	150,236
流動負債合計	288,222	244,907
固定負債		
退職給付引当金	27,857	28,644
繰延税金負債	2,380	2,362
固定負債合計	30,238	31,007
負債合計	318,461	275,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,007,526	1,007,526
資本剰余金	1,396,524	1,396,524
利益剰余金	△574,819	△635,562
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	1,734,279	1,673,536
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,981	4,961
評価・換算差額等合計	4,981	4,961
新株予約権	2,136	2,136
純資産合計	1,741,397	1,680,634
負債純資産合計	2,059,859	1,956,549

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業収益	433,458	336,501
営業費用	464,401	397,481
営業損失(△)	△30,942	△60,980
営業外収益		
受取利息	1,032	144
受取配当金	85	170
為替差益	-	306
受取手数料	220	187
その他	18	0
営業外収益合計	1,356	809
営業外費用		
為替差損	919	-
コンテンツ開発解約損	345	-
その他	9	-
営業外費用合計	1,274	-
経常損失(△)	△30,860	△60,170
特別損失		
固定資産除却損	22	-
特別損失合計	22	-
税引前四半期純損失(△)	△30,882	△60,170
法人税、住民税及び事業税	572	572
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	572	572
四半期純損失(△)	△31,455	△60,743

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	289,833	118,134	25,490	433,458	—	433,458
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	289,833	118,134	25,490	433,458	—	433,458
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△23,196	△550	16,614	△7,132	—	△7,132

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△7,132
「その他」の区分の利益	—
全社費用(注)	△23,810
四半期損益計算書の営業損失(△)	△30,942

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	225,555	87,102	20,823	333,481	3,019	336,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	225,555	87,102	20,823	333,481	3,019	336,501
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△5,936	△158	5,843	△251	△36,289	△36,540

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△251
「その他」の区分の利益	△36,289
全社費用(注)	△24,439
四半期損益計算書の営業損失(△)	△60,980

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、一定の費用につき各報告セグメントへの貢献割合の変化により、当該費用の各報告セグメントへの配賦率を必要に応じて見直しており、当第1四半期から配賦率の変更を行っております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の「ソフトウェア販売事業」のセグメント利益が6,330千円増加し、「サイト広告販売事業」のセグメント利益が6,330千円減少しております。